

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。

今回の更新で 15 回目となりました。

100 万人の防災！地震対策は今日(京)から始めましょう！

■発生が叫ばれている宮城県沖地震は、 良い地震？悪い地震？

平成 18 年 2 月 2 日掲載

新潟でも福岡でも、私が被害調査で話を伺った皆さんは、口をそろえて

- ・「こんなになるとはまったく思ってもいなかった。家中のすべての家具や電化製品が倒れたりし、壁が落ちて少し傾いており住めない状態だ。」
- ・「こんな地震が起きるとは思ってもいなかったし、夢を見ているようだった。」
- ・「神戸の地震は他人事だったし、こちらで地震が起きるとは思わなかった。」

とおっしゃっていました。

被災された方のほとんどは、微塵にも地震の発生を考えていなかったのでしょう。

そして、突然発生した地震により、大きな被害を受けました。**悪い地震**です。

また、29万人もの犠牲者をだしたインドネシア・スマトラ島沖大地震も、まったく予期せぬ地域で発生した、悪い地震の典型ではないでしょうか。

「地震に良いも悪いもあるか！」とおっしゃるあなた。

確かに、私たちに被害をもたらす地震は悪いものです。しかし、宮城県沖地震は、日頃の備えを行って、待ち構える事ができる**良い地震**と言えるでしょう。

私たちが住む宮城県では、繰り返し大地震が発生しています。過去 200 年に起きた地震の最も短い間隔は26.3年、最も長い間隔は42.4年、平均の間隔は37.1年です。前回の宮城県沖地震からは、平成18年2月の時点で既に28年近くが経過し、最も短い発生間隔を過ぎ、いつ発生してもおかしくない状態になっています。

昨年8月の地震の際、多くの方々が「ついに来たかー！」と思ったのではないのでしょうか？

私たちには近々宮城県沖地震が起こるという事前の情報があり、強みです。その意味において「宮城県沖地震は**良い地震**である。」といえると思うのです。

朝の天気予報で「今日の天気は、昼過ぎには雨になるでしょう。」という放送があったなら、傘を持って出かけられると思います。

地震の発生が確実視されているのであれば、地震対策をしないわけにはいきません。

8・16宮城地震は、予測される震源域で発生したのですが、やや規模の小さいものでした。宮城県沖地震の予告といっても過言ではないでしょう。

さて皆さんは、8・16宮城地震の時何をしていて、どうしたのか思い出してみてください。



8・16宮城地震はお盆休み中の、あまり社会活動が活発に行われていないときに発

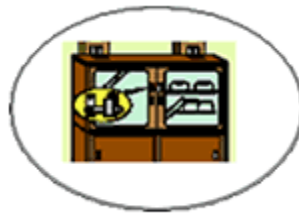
生しました。

「リハーサル」としては、これ以上ないものだったと思います。

この地震のおかげで、より具体的に注意すべき箇所が見えてきたのではないのでしょうか。

さあ、今一度点検をお願いします。

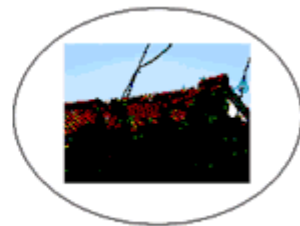
・室内の家具・置物などの配置、固定



・地震発生時の対処方法(家に居た時、外出時)



・屋外のブロック塀・自動販売機・屋根瓦など



・家族との安否確認の方法

